

科学の甲子園大会に出場 酒田東高校が県初優勝した。

倒れにくい箱を作る実技試験を解いた。

酒田東高校探究科の2年生7人のチームが、来年3月18～21日に茨城県つくば市で開かれる「第11回科学の甲子園全国大会」に出場する。10月の県大会で庄内勢初の優勝を果たし、出場を決めた。表彰式が12月9日に同校で開かれた。

チームで問題を解いて競う大会。県大会では、物理・化学・生物・地学・数学・情報の筆記試験と、ストローやナットなどで倒れやすい箱と



ガッツポーズで健闘を誓う酒東チーム

酒東チームの佐藤奏汰くん、中村由治くん、青山和南くん、荒木優太くん、小松原颯斗くん、後藤宗哉くん、船越健太くんの男子7

人は、筆記が180点中103点で3位、実技が180点中135点で2位だったが、総合点の238点で2位の山形北を30点上回り、優勝を決めた。

表彰式では県教育センター副所長の村上ゆかり県大会実行委員長がメダルや盾を授与し、選手代表の佐藤くんが「経験と知識を生かし、科学への造詣を深めていきたい」と決意を述べた。大山慎一校長は「優勝はスパーサイエンスハイスクールの指定を受けた本校にとって幸先の良いこと。知識を磨き、酒東の誇りを胸に精一杯戦ってほしい」と励ました。